

麻疹ウイルス検査についてのお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたびの麻疹流行に伴い「麻疹ウイルス」HI 法および NT 法の測定試薬が流行状況によっては不足することが予想されます。
つきましては、今後の検査報告遅延や一時受託中止が発生することが想定されますので、ご案内いたします。
先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承賜りますよう、お願い申し上げます。

敬 白

記

■対象項目

項目コード	検 査 項 目	備 考
4939	麻疹ウイルス〔HI〕	試薬供給不足に伴う 報告遅延及び一時受託中止
4826	麻疹ウイルス〔NT〕	

■代替項目

項目コード	検 査 項 目	検査方法
5042	麻疹ウイルス IgG	EIA
5044	麻疹ウイルス IgM	EIA

※代替項目として上記項目をご案内いたします。

「医療機関での麻疹対応ガイドライン（第六版：暫定改訂版）」[平成 28 年 5 月 26 日 国立感染症研究所感染症疫学センター]の「麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法」において、『酵素抗体法（EIA 法）またはゼラチン粒子凝集法（PA 法）を用いる。』と記載されています。

群馬臨床検査センター